事務事業名	森林病害虫等防除事業				事業通番		5213		
学 份学未有	秣	出寺 ທ际	事 兼				開始年度	4	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	策名 元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
松口町凹件米	施策No.	4-2	施策名	林業の	木業の振興		担当課名	卢	E 業振興課
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環	境対策室(係)
了异 科 日	項	林業費			目	林業振興費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	森林病害虫等防除法				
事務事業の概要	森林病害虫等防除法に基づき、保全すべき森林において被害を沈静化させるため駆除・予防する。 令和6年度は白鳳山公園において病害虫防除の薬剤を用いて地上散布を行い、松くい虫被害を軽減し良好な森林環境を維持す 事務事業の概要 る。				
対象(誰、何を)	保全すべき森林				
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	保全すべき森林の薬剤防除が実施されている。				
成果の考え方	森林病害虫による被害の拡大を防ぎ、被害範囲を最小限に抑える。				
【成果指標】		単位			
A 被害木の駆除材積		m³			
B 地上散布実施面積	地上散布実施面積 ha				

B 地上散布実施面積 2. 事業の実績

(1)事業費等の推移

•	(・) 予末負付の証的							
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度		
事	業費(千円)	5,122	3,592	4,565	4,906			
	国庫支出金							
	県支出金		2,475	3,423	3,680			
	地方債							
	その他							
	一般財源	5,122	1,117	1,142	1,226			
7	つくにま中値	17 -0-4-H						

(0)	指標の推移	
(2)	指標の作移	

(2)	指標の推移		ا	上段:目標値	下段:実績値
成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	60	0	0	0	
A	78.23	0	0	0	
В	25	23.5	23.5	23.5	
	18.16	18.16	23.5	23.48	

(3)活動実績及び成果

	地上散布実施面積23.475ha
活動実績	
	薬剤防除(地上散布)を実施することにより森林病害虫による被害拡大を抑制した。
成果	

O : 40.40 III		
成果の方向性	現状維持	(理由) 被害を未然に防ぎ良好な森林を維持する。
コストの方向性	現状維持	(理由) 被害を未然に防ぎ良好な森林を維持するには、継続した事業の実施が必要である。
今後の方向性	現状維持	(理由) 良好な森林環境を維持するため、効果的で継続した事業の実施が必要である。

事務事業名	- ○ ¬ ¬′你哦 ¬ = □. 哭 古 ₩					事業通番		5237	
于份于未 位	ペレットストーブ等購入設置事業 				開始年度	4	令和3年度		
松 人是兩什么	政策No. 4 政策名 元気と賑わいのある産業づくり				終了年度				
	総合計画体系			担当課名	產	E 業振興課			
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環	境対策室(係)
了异 科 日	項	林業費			目	林業振興費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

TAVINIA				
法令根拠、条例等	会津美里町ペレットストーブ等購入設置事業補助金交付要綱			
事務事業の概要	ペ゚レットストーブや薪ストーブの導入を促進し、木材の有効利用を図る。木質バイオマス(樹木に由来する生物資源をいう。)の利活用を図り、森林整備及び地球温暖化対策を推進するため、ペレットストープ及び薪ストーブを新たに設置する者に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。 【おもな取組】令和6年度は、予算計上した2基分の補助金交付事務を行う。			
対象(誰、何を)	町内に住所を有し、住居及び事業所を有している者または有する予定の者。			
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	木質バイオマスの利活用の意図を理解してもらい、予算の範囲内でペレットストーブ等設置費用の一部	を補助する。		
成果の考え方	2台以上の購入を目標とする。			
【成果指標】		単位		
A 設置台数		台		
В -		-		

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

•	(・) テススマンにか						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
ŧ	業費(千円)	100	100	100	100		
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	100	100	100	100		
-	2 / 光史中省	T					

(2) 指標の推移

(2)	指標の推移		ا	上段:目標値	下段:実績値
成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	2	2	2	2	
A	2	2	2	2	
-	1	-	1	-	
В	-	-	-	-	

(3)活動実績及び成果

ペレットストーブ等2台の設置に対して補助金を交付した。
ペレットストーブ等の台数が増えることにより、町内において更に木質バイオマスの利活用を図ることができた。

成果の方向性	拡充	(理由)
コストの方向性	拡大	(理由) 事業所への補助も実施することからコストは増加する。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 二酸化炭素の排出量削減に高い効果があるペレットストーブ等の導入を推進し脱炭素への取組を進める。

事務事業名	森林環境交付金事業					事業通番		5240	
学 份学未有						開始年度	4	6和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
松口町凹件米	施策No.	4-2	施策名	林業の振興			担当課名	盾	業振興課
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環	境対策室(係)
丁异科日	項	林業費			目	林業振興費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	県森林環境税条例、県森林環境基金条例、県森林環境交付金交付要綱、県森林環境交付金事業実施要領					
事務事業の概要	福島県森林環境税を原資とし森林環境交付金を活用することで森林整備や森林観察教室の実施、木造・江事を行う場合の県産木材購入、木製机椅子などの県産材を使用した物品導入を行う。令和6年度は野生動物との共生森林整備及び蓋沼森林公園景観支障木伐採等を行うとともに福島県産材購入や森林環境学習を実施する。					
対象(誰、何を)	町内小中学校児童生徒 町有施設、学校、未就学児童が通う保育施設、並びに地域住民が整備又は管理する集会所など公共性が まれる施設。	あり多様な利用が見込				
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	森林環境の保全と森林を守り育てる意識の醸成。					
成果の考え方	森林の大切さを学ぶことを目的に実施される児童生徒対象とした森林環境学習の実施回数、参加人数を成果指標に設定した。 成果の考え方					
【成果指標】		単位				
A 森林環境学習実施回数	X					
B 森林環境学習参加人数	森林環境学習参加人数					
2 車業の中籍						

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

•								
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度		
事業費(千円)		4,454	8,647	10,401	7,156			
	国庫支出金							
	県支出金		6,827	7,390	6,648			
	地方債							
	その他							
	一般財源	4,454	1,820	3,011	508			
7	(2) 年前6年1276中国							

(2) 指標の推移 上段:目標値 下段:実績値

	成果 指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		30	30	30	2	
	A	28	26	18	2	
	В	1,095	1,095	1,000	50	
1		737	1,044	646	62	

(3)活動実績及び成果

活動実績	【基本枠】 民家付近にある野生鳥獣の移動経路や潜み場となる藪や雑木林を整備する緩衝帯事業4.93ha、町内小学生を対象に森林環境学習を開催し62人参加、蓋沼森林公園内の景観支障木伐採0.31ha、相田のケヤキ一部伐採等。 【重点枠】 町内小中学校の学習机・椅子148セットの購入、蓋沼森林公園遊歩道内の木橋の木材8.62㎡の購入等
	町内小学生を対象に森林環境学習(森林に関する〇×クイズや木工クラフト教室)を開催し森林に対する理解を深めることができた。山林では緩衝帯を作ったことで野生鳥獣を人里に寄せ付けない環境になり、近隣住民の安全を図ることができた。町内小中学校や各公園内に福島県産の木材を活用することで利用者に対して木材をより感じられる場を提供した。

O : AX4< N IM		
成果の方向性	現状維持	(理由) 森林整備や木材をより感じられる場を提供することで、森林に対する意識の醸成を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 森林に対する意識の醸成を図るため、交付金を活用し継続して事業を実施する。
今後の方向性	現状維持	(理由) 森林環境学習を実施することにより森林の多様性や環境問題への学びの場を提供し森林に対する理解を深めるとともに、県産木材の活用や森林整備を推進する。

事務事業名	森林資源活用推進事業					事業通番		14693	
于份于朱石						開始年度	4	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
松口計画体系	施策No.	4-2	施策名	林業の振興			担当課名	卢	E 業振興課
文集 初日	会計	一般会計		款農林水		農林水産業費	担当係名	森林環境対策室(係)	
予算科目	項	林業費		目 林業総務費		目 林業総務費 重点プロジェクト		該当	

1. 事業の概要

3-514 1915-					
法令根拠、条例等					
事務事業の概要	森林資源の活用を進めるため、木質バイオマス資源の熱エネルギーとしての利用を目指す会津地域森林会と連携を図り、効率的な森林資源の収集運搬システム構築による持続的活用に向けた取組を進める。また、官民連携による持続可能かつ経済性を確保した民間事業者主体による森林資源活用の取組に対し振興を図る。 【おもな取組】令和6年度は、引き続き協議会の取組に参画しつつ、町内での森林資源活用の取組に対	て補助を行い、林業の			
対象(誰、何を)	①会津地域森林資源活用推進協議会 ②町内の民間事業体				
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	①負担金を支払うことで、当該組織が円滑に事業を実施できる状態にする。 ②民間事業体が持続可能かつ経済性を確保した森林資源活用の取組が行われる。				
成果の考え方	①当該団体が検討会等を重ねることでより効率的かつ効果的な枠組み構築が図れるよう努める。 ②町内での木材需要が拡大する。 成果の考え方				
【成果指標】		単位			
A 各団体の主催事業実施	A 各団体の主催事業実施回数 回				
B 木材生産量		m³			

2. 事業の実績

(1)事業費等の推移

•	.) 3.51454 0					
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)		245	250	8,925	1,001	
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他			8,915	1,001	
	一般財源	245	250	10	0	
-	0 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \					

(2)指標の推移

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	10	3	5	5	
A	2	16	4	2	
	6,143	6,263	6,384	6,504	
В	11,469	17,704	11,816	15,808	

上段:目標值 下段:実績値

(3)活動実績及び成果

活動	牢	

①森林資源の有効活用や利活用を推進するため、会津地域森林資源活用事業推進協議会主催による研修会が2回開催された。 ②森林資源活用ビジョンに基づく広報啓発イベントが開催された。

成果

①森林資源活用に係る知識を習得し、今後の町内での活動における基礎を整備することができた。 ②町内において森林資源活用の意識醸成がなされた。

O : AX4< N IM		
成果の方向性	拡充	(理由) 森林資源の活用に関して、広域的な連携も踏まえながら、町として効果的かつ効率的な森林資源活用にかかる事業展開を加速化させていく必要がある。
コストの方向性	拡大	(理由) 町における森林資源の現状や利用状況を踏まえながら、広域的な連携も含め効率的かつ効果的な民間事業者主体による持続可能な森林資源活用の取組を具現化していく必要がある。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 町における森林資源の現状や利用状況を調査し林業の振興を目的とした官民連携による持続可能かつ経済性を確保した民間事業者主体による森林資源活用の取組を具現化し、長期的な森林資源活用を図っていく必要がある。

事務事業名	ふくしま森林再生事業					事業通番		15009	
学 份学未有	ふくしま:	綵州冉生	争亲				開始年度	4	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気	と賑わいのあ	る産業づくり	終了年度	4	6和7年度
	施策No.	4-2	施策名	林業の	の振興	担当課名	盾	業振興課	
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環	境対策室(係)
了异 科 日	項	林業費			目	林業振興費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
法令根拠、条例等	ふくしま森林再生事業補助金交付要綱 ふくしま森林再生事業実施要領	
事務事業の概要	福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性 の森林整備、表土流出防止対策等の放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能を維持 低減、拡散防止を図る。 【おもな取組】令和6年度は、西本地区片工沢及び宮川字栗生地内外における森林整備を実施する。	
	放射性物質拡散の影響で森林整備が停滞している森林	
対象(誰、何を)		
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	森林整備が行われ手入れの行き届いた森林となる	
成果の考え方	適切な手入れが行われている森林が増加することにより、主伐の際により良質な木材が搬出されること る有効活用を図る。	による森林資源の更な
[** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		334 14-
【成果指標】		単位
A 森林整備施業面積		ha

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

•	(・)・デススマンドル						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
事業費(千円)		137,714	131,171	56,595	79,898		
	国庫支出金						
	県支出金	109,331	111,262	41,251	58,951		
	地方債						
	その他						
	一般財源	28,383	19,909	15,344	20,947		
7	(2) 运動中华卫州州						

(2) 指標の推移 上段:目標値 下段:実績値

	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
1		20	30	10	20	
	A	30.14	30.85	15.96	23.22	
	В	-	-	-	-	
		-	-	-	-	

(3)活動実績及び成果

活動実績	宮川字栗生地内外において3.94haの森林整備を行った。 西本字片工沢地内外において19.28haの森林整備を行った。
	適切な手入れが行われている森林が増加した。
成果	

O : 40.40 III		
成果の方向性	現状維持	(理由) 放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、ふくしま森林再生事業の全体計画に基づき、森林整備等を行い森林の有する多面的機能の維持と森林の再生を進める必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) ふくしま森林再生事業は、令和7年度で計画期間終了となるが、計画に基づき適切な投資を行う必要がある。
今後の方向性	現状維持	(理由) ふくしま森林再生事業の全体計画に基づき、令和7年度の事業完了に向け継続して計画的に森林整備を行っていく必要がある。また、令和8年度以降については、森林経営管理制度を活用するなど引き続き森林整備を推進していく。

事務事業名	14 D 14 4 15 18 14 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18					事業通番		15334	
学 份学未有	特用林産物振興支援事業 					開始年度	4	成30年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気。	と賑わいのあ	終了年度			
松口町凹件米	施策No.	4-2	施策名	林業の	の振興	担当課名	產	正業振興課	
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環	境対策室(係)
丁异科日	項	林業費			目	林業振興費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

1. 手未の例女			
法令根拠、条例等	会津美里町特用林産物振興支援事業補助金交付要綱		
林業振興を図るため、特用林産物栽培に対する新規又は規模拡大にかかる機械設備や資材等の導入を支援する。 【おもな取組】令和6年度は、上記支援に加え、生産者の減少や高齢化が課題となっていることから、生産量の増加に向 事務事業の概要 担い手の確保等の方策を関係機関と調整を図る。			
対象(誰、何を)	町内の特用林産物生産者		
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	新規生産や規模拡大に取り組みやすくなる。		
成果の考え方	特用林産物生産量が増加する。		
【成果指標】			
A 生しいたけの生産量		k g	
R -		_	

B -2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

(2) 指標の推移

上段:目標値 下段:実績値

区分		3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)		200	0	0	0	
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	200	0	0	0	

	成果 指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
-		48,000	49,800	51,500	52,900	
-	A	37,385	32,406	36,356	26,945	
	В	-	-	-	1	
	В	-	-	-	-	

(3)活動実績及び成果

活動実績	農事組合をとおして、農業関係者に「町農業関係補助金のお知らせ」のチラシを配布した。また、生産者及び農業関係団体 (JA、菌床組合等)に対して、直接、特用林産物振興支援事業の説明及び意見交換をおこない、支援内容のチラシ等の配布、 周知をおこなったが補助金の申請実績はなかった。
成果	同一生産者の生産量が減ったり、生産者の高齢化、気温や湿害等の気象条件、資材等の高騰、菌床の製造工程における害菌被害等が生育に大きく影響を及ぼし、生しいたけの生産量が前年度より大幅に減少した。

成果の方向性	現状維持	(理由) 補助金内容の周知を図り新規生産者又は規模拡大生産者に対し補助金を交付し生産量の増加を目指す。
コストの方向性	現状維持	(理由) 関係機関と連携し補助金の活用を推進し生産量の増加を目指すため現状維持とした。
今後の方向性	現状維持	(理由) 関係機関と連携し補助金制度について周知し新規生産者及び規模拡大生産者を支援し生産量の増加を目指す。

事務事業名	* ++ +== +=	= ₩ /□ \# :	± **				事業通番 15556			
学 份学未有	森林環境	登 偏促進	事 兼				開始年度	Ą	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度			
松石町凹件米	施策No.	4-2	施策名	林業の	の振興	担当課名	卢	業振興課		
予算科目	会計	一般会計		款 農林水産業費 担当係名		森林環境対策室(係)				
丁异科日	項	林業費			目	林業振興費	重点プロジ	ェクト	該当	

1. 事業の概要

TA-1013				
法令根拠、条例等	森林経営管理法			
事務事業の概要	森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、森林所有者の経営管理意向調査や経営管理権の取りま画を策定し、林業事業体に経営管理を委託することにより間伐などの森林整備を促進する。 【おもな取組】令和6年度は、前年度までに集積計画素案を作成した佐賀瀬川地区、旭無量地区の集積 業務を進める。			
	長期間森林整備が行われていない民有人工林			
対象(誰、何を)				
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	適切な森林の経営管理計画が作成され、計画的な森林整備が実施される。			
計画的な森林整備を町内民有人工林で展開することにより、森林の有する公益的・多面的機能の保全を図る。 成果の考え方				
【成果指標】		単位		
A 森林経営管理意向調査	4 森林経営管理意向調査実施面積			
B 林業経営体への再委託	林業経営体への再委託が完了した面積			

2. 事業の実績

(1)事業費等の推移

•	(·) +xx400mb						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
4	業費(千円)	13,639	17,099	8,859	24,084		
	国庫支出金						
	県支出金				6,683		
	地方債						
	その他	13,639	17,099	8,859	17,401		
	一般財源	0	0	0	0		
	2 / 25年1年4月						

(2) 指標の推移

(2)	指標の推移		١	上段:目標値	下段:実績値
成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	50	50	50	0	
A	361.46	292.56	0	0	
В	14	10	30	30	
8	0	0	0	0	

(3)活動実績及び成果

活動実績	①今年度は意向調査を実施する計画ではなかった。 ②経営管理権集積計画作成準備業務委託により、次年度の同意取得に向けた準備を行った。 ③林地台帳付図作成業務委託により、山林の境界確認を行う基礎資料の作成を行った。
成果	①意欲と能力のある林業経営体への再委託に向けた準備を進めることができた。 ②山林の境界確認を行う基礎資料の作成を新鶴地域及び高田地域赤沢地区で行った。

O 1 40/1/11/11/11		
成果の方向性	縮小	(理由) 森林の有する公益的機能の維持増進を図り森林管理制度の趣旨に基づき長期間整備が行われていない森林を対象に事業を進めていくが、未相続森林が多数あり事業展開方法の検討を要する。
コストの方向性	縮小	(理由) 事業の進捗を図ってきたが、未相続森林が多数あり事業の精査が必要である。
今後の方向性	段階的縮小	(理由) 未相続森林が多数あり森林所有者調査や森林境界の確認に時間を要し森林整備につながっていないため新規地区は選 定せず、事業を精査する。

事務事業名 森林公園等管理事業							事業通番		16752
学 份学未有	綵M公園	寺官理事:	某				開始年度	4	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
松口町凹件米	施策No.	4-2	施策名	林業の	の振興		担当課名	直	業振興課
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環境対策室(係)	
了异 科 日	項	林業費			目	林業振興施設費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

森林公園は自然に 鳳山公園において
単位
人
-

2. 事業の実績

(1)事業費等の推移

_ `	()						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
事業費(千円)		12,843	14,932	14,702	29,670		
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債				13,100		
	その他		333	345	235		
	一般財源	12,843	14,599	14,357	16,335		
-	0) 光色中華						

(2) 指標の推移 上段:目標値 下段:実績値

_					100	
	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
-		2,500	2,500	2,500	12,000	
-	A	13,930	12,832	11,007	9,601	
		-	-	-	-	
1	В	-	-	-	-	

(3)活動実績及び成果

活動実績	各公園の設備や遊具の点検・修繕を行った。 シルバー人材センターに蓋沼森林公園、白鳳山公園の管理業務を委託し、八木沢公園については草刈り、芝刈り等を委託した。 蓋沼森林公園で3,394人、白鳳山公園では6,207人の来園者が訪れた。
成果	公園内の施設を適正に管理することにより、事故なく利用者の利便性を維持することができた。

成果の方向性	現状維持	(理由) 施設の修繕、林道、遊歩道付近の枯れ木、倒木の伐採を行い事故等の発生を防止するとともに施設の清掃等を行い快適に利用できるよう適正に管理し利用者の増加を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 利用者の安全を第一に施設の修繕、林道、遊歩道等の管理、清掃等を継続的に実施する。
今後の方向性	現状維持	(理由) 施設の老朽化と近年の利用状況を踏まえながら施設の改修等を検討していく。

事務事業名	林道整備維持管理事業					事業通番		17443	
学 份学未有						開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
松口町凹件米	施策No.	4-2	施策名	林業の振興			担当課名	盾	業振興課
予算科目	会計	一般会計			款	農林水産業費	担当係名	森林環	境対策室(係)
了异 科 日	項	林業費			目	林道整備費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

・ 事素の似安			
法令根拠、条例等			
事務事業の概要	林業が魅力ある産業として成長するためには、森林資源の有効活用が必要である。そのためには森林資必要であることから、林道の整備・維持管理を適正に行うことにより作業条件を向上させ、林業従事者る。 【主な取組】令和6年度は引き続き、東尾岐地区及び旭寺入地区の林業専用道新規開設に取り組むとと設工事を進める。また、既設林道については、現場状況や利用状況等を踏まえ適正な維持管理を行う。	の所得向上につなげ	
対象(誰、何を)	①既設林道 ②新設林道及び既設作業道		
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	①安全に通行できる状態が保たれている ②新規林道については開設され、既設作業道においては改良が行われる		
成果の考え方	①林道を安全に通行できる状態に保つ ②新規路線開設や既設路線改良により、大型機械を使用した効率的な林業施業が可能となる森林面積を拡大させる 成果の考え方		
【成果指標】		単位	
A 通行可能林道延長		m	
B 林道密度		m/ha	

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

((1) 事業實等の推移						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
事業費(千円)		81,927	85,130	53,573	148,229		
	国庫支出金						
	県支出金	49,432	51,785	30,630	91,485		
	地方債						
	その他				3,007		
	一般財源	32,495	33,345	22,943	53,737		

(2) 指標の推移 上段:目標値 下段:実績値

	· - /	3H 101 3H 12		_		1 12 - 2000
	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		107,871	107,871	108,214	109,214	
	A	79,774	79,951	80,971	81,191	
	В	5.73	5.73	5.73	5.73	
Ì		5.68	5.69	5.71	5.88	

(3)活動実績及び成果

活動実績	・林業専用道大滝線支線開設工事(4工区)を発注し、現在施工中である。 ・林道水無沢線開設工事(2工区)(3工区)を発注し、現在施工中である。 ・林道維持管理として修繕や草刈り等を実施した。
成果	・林道維持管理作業の実施及び愛護団体への草刈業務委託などにより林道の安全な通行を確保した。 ・林道開設工事の実施により効率的な森林整備施業に向けたインフラを整備し林業の振興を図った。

成果の方向性	現状維持	(理由) 林道開設においては全体計画に基づき事業を進め、既設林道については利用状況や地区の要望、緊急性などを考慮し 適正な維持管理に努める。
コストの方向性	現状維持	(理由) 林道開設工事については現場状況を確認しながら計画的に事業を進め、既設林道についてはすべての林道を適正に管理することは難しいため利用状況などを考慮し管理する。
今後の方向性	現状維持	(理由) 計画的に事業をすすめ、効率的な森林整備を推進するとともに既設林道の適正な維持管理に努める。